

神の存在の証拠

Scott Rogers、Christinscripture.com 2022 年 12 月

多くの人は、神が存在するかどうか知りたいと思っています。私は、ここでこのような人々に対して書いています。未信者の人は、長い時間議論し検討してきた、このことについての強い疑問や感情を止めてみてください。科学は多くの疑問に答えることができますが、物質世界のみを扱っており、神の存在を証明したり反証したりすることはできません。しかし、宇宙には創造主の存在を示す多くの証拠があるため、この議論には科学が必要なのです。

神は創造されていない創造主

キリスト教徒が神と言うとき、私たちはすべての霊的および物理的なもの、力、そして世界の創造されていない創造主を意味します。この定義がなければ、神の主題を知的に議論することはできません。物理的宇宙の個々の部分はすべて有限であり、測定可能です。しかし、神は超越的であり、物理的な領域を超えて存在します。彼神は目に見えず、物理的な調査の対象にもなりません。神は永遠なので、時を超えて常に存在しています。神は過去、現在、未来を一度に見ることができます。神は全知全能であるため、すべてのことを理解し、知っており、時間と空間のすべてを見ています。神が物理的宇宙の一部であると定義する概念はすべて誤りです。神が物理的な世界の一部であるとすれば、神は創造主ではありません。

神の存在の証拠

神の存在を証明したい人がいます。証明とは、否定できない物理的証拠です。神は物質界の外に存在するため、神の物理的な証拠は存在しません。しかし、証拠がないからといって、神が

存在しないということにはなりません。神という主題に近づくには、証拠そのものではなく、神の存在を示す証拠にたどりつく情報を探する必要があります。

神が物理的な世界を創造したとすれば、この世界は神の性質を反映していると考えられます。論理的には、創造主は少なくとも創造した宇宙と同じくらい強力で壮大でなければなりません。神の存在の証拠は、神が造ったものにはっきりと見られます。これらには、神の永遠の力、威厳、神聖な性質が含まれます。これらの属性は、この世界に住むすべての人が見ることができます。星と宇宙の広大さ、美しさと力のある自然、そして人間とその知性です。

宇宙の始まり

選択肢は2つしかありません。宇宙には始まりがあったか、あるいは、宇宙は常に存在していたか。原因と結果の原則は、始まりのあるものには原因があるということです。巨大なエネルギーの爆発的放出によって宇宙が始まったという豊富な証拠があります。これは、私たちが神と呼ぶ第一の原因を強く示唆しています。

また、私たちは宇宙の複雑さ、秩序、機能、美しさを見て、神を考えざるを得ません。宇宙と物質の始まりが、ランダムなエネルギーと物質の全く制御されていない放出ではないのはなぜですか？ 制御されたプロセスがなければ、粒子の種類とエネルギー レベルが無数にある全くもって混沌とした宇宙が発生していたでしょう。しかし、そこには秩序と均一性があり、その結果、宇宙の物質が現在の形になっているのです。この事象では、なんらかの仕組みが制御を提供しているほか考えられません。その仕組みが神なのです。

複雑さと秩序

宇宙には、エントロピーと呼ばれる多くのカオス、無秩序、およびランダム性が含まれています。宇宙の多くの領域では、ランダム性がより明白です(銀河、星の動き、超新星爆発など)。ランダム性は、地質学的事象、化学的および生物学的プロセスでも発生します。しかし、複雑さと秩序も観察されます。素粒子から銀河規模まで、神を信じるに値する非常に説得力のある理由を示しています。

もしも、一つだけの特定された秩序の場合は、それは、説明されなければなりません。しかし、自然の法則によって表現されているように、宇宙のあらゆる部分に秩序が存在します。これらの法則を方程式で表すと、ある物理定数が現れます。これらには、重力、光速、核力の強さが含まれます。これらは普遍的で変わることなく、明確に定義され実証された数学的関係があります。これらの法則は物理的な世界を支配し、私たちが住む宇宙を定義します。それらの存在は、知的な法を与える者の存在を強く示唆しています。

陽子、中性子、電子、光子など、さまざまな種類の亜原子粒子があります。それらの数は何兆にも上りますが、各タイプはサイズとエネルギーが信じられないほど均一であり、確立された法則に従って動き、相互作用します。これらの粒子のさまざまな組み合わせが各原子内に見られ、個々の要素が生じます。元素のすべての同位体は、サイズ、質量、エネルギーがまったく同じです。この均一性により、格子構造内の特定の原子の規則的な配置に基づいて、鉱物の結晶構造が可能になります。これは、三次元で何十億回も再現されます。大規模な秩序は、太陽

系、太陽の周りの惑星の動き、銀河内の星々に見ることができます。この秩序はすべて知的な創造主を指しています。

原因と結果と機能

ランダム性とカオスも宇宙のあらゆる部分に存在します。強力な望遠鏡を通して、これまで以上に宇宙を遠くまで見ることができます。宇宙には恐ろしいシーンがあります。宇宙の爆発、星の破壊、さらには物質ですらあります。しかし、確立された物理的性質、法則、および均一な粒子と分子がなければ、秩序とプロセスはまったく存在せず、全くの混沌のみが存在します。原子レベルでは、化学反応は無秩序であり、光と熱エネルギーの伝達は無秩序であり、ガスまたは水圧の伝達は無秩序です。混沌がなければ、あるメディアが別のメディアに影響を与えることはなく、原因と結果のない秩序だけです。しかし、秩序とランダム性の組み合わせが、原因と結果、多様性、プロセス、美しさを備えた宇宙をあるがままにしています。

複雑さは、神の存在について説得力のある証拠です。地球と宇宙の複雑さ、そして生物学的生命体の最も単純な形態でさえ、知的な取次人なしに単独で起こるにはあまりにもすごすぎます。DNAは、すべての生物に保存されている信じられないほど複雑な情報です。超越的な設計者からの指導なしに、生命のない原材料からこの情報がどのように発展するかを想像することは困難です。しかし、秩序と機能と相まって複雑さは、神の存在に対してさらに説得力のある証拠を提供します。生命を維持し、再生するためにすべての生物に見られる機能は、知的な設計者を指し示しています。秩序と機能は、植物界と動物界の相互依存性、および季節や新しい環境に適応する能力においても、より大きな規模で観察されます。

人格と知性

神がいなければ、宇宙は超越的な価値や非物質的な要素がなく、純粹に物質的なものになります。何かの作成者または源は、作成されたものよりも偉大でなければなりません。ですから、創造主がいるとすれば、その存在は被造世界の何よりも高いレベルにあるに違いありません。低次の意識が高次の意識の源になることはできません。したがって、創造主は最も偉大な被造物よりも偉大でなければなりません。神は究極の意識です。自分自身と他のすべてを完全に認識しています。

人格は、私たちが宇宙で目にする最高レベルの存在です。人には自意識、意志、感情、コミュニケーション能力があります。人が体を持っている場合、それはその人が存在する乗り物です。人が物理的物質またはそれを持たない低次の生命体から生成される可能性があるということは、論理と原因と結果の原則に反しています。人間は人格であるため、創造主も非人格的な力ではなく、人格でなければなりません。人格を有する作成者のみが、別の人格を作成できるのです。

創造主が人格である場合、創造主は他の人格を作成する力と権利を持ち、小規模の自分自身を複製することさえできます。クリスチャンは、人間は神の形に造られたと信じています。それは、人間が創造主の持つ性質を持っていることを意味します。人間は、知性、コミュニケーション、意欲、善悪の認識、感情、および創造性を備えています。私たちは、人間がこれらの限

られた資質を持っていることを知っていますが、人間の源または作成者は、これらを無限に持っている必要があります。

知性とは、創造し、抽象的に考え、学習または理解する能力です。知性が物質界に存在するのであれば、創造主もまた、どの被造物よりも知性がなければなりません。人間は私たちが知っている最高の生命体であり、私たちは創造された世界の一部であるため、創造主は私たちよりもはるかに知的でなければなりません。人間の精神の非常に複雑で、深みがあり、創造性があることは、偉大な知性の創造者がいることを示唆しています。神は無限であるため、無限の知性を持っているに違いありません。

人間は、道徳律、つまり善悪の認識を持っています。一部の人々は道徳感覚が低下していますが、すべての人は生きていく上での正しい行動の感覚と、従うべき道徳律を持っています。私たちは皆、私生活や社会において、愛、思いやり、許しを必要としています。この意識を私たちに与えてくれる超越的な創造主がいなければ、説明するのは非常に困難です。

畏敬の念と驚き

物理的な世界の美しさ、力、素晴らしさは、私たちの中に畏敬の念と驚きを生み出し、自分自身よりも偉大なものがあることに気付かせてくれます。物理的な世界に近づくほど畏敬の念を起こさせます。しかし、畏敬の念と驚きは、人によって異なって感じられます。子供は、毛虫や空を飛んでいる鳥などの非常に単純なことに深く感銘を受けます。彼らにとって、それはす

べて新しく、畏敬の念を起こさせるものです。しかし、大人や専門家が感動するのは簡単ではないので、彼らは創造の素晴らしさを思い出す必要があります。

人々が被造物に畏敬の念を抱いているという事実は、神の存在を証明するものではありません。しかし、一部の人々が畏敬の念を抱いていない、または神を信じていないという事実は、神が存在しないことを証明するものではありません。私がここに提示した証拠をよく考えていただければ幸いです。